

今後の主な日程

- 10月1日(月)～
幣束の頒布
- 10月23日(日)
神社境内清掃・草刈り
- 11月23日(木)
新嘗祭
- 12月吉日(?)
注連縄づくり
- 12月30日(木)
大祓い



神輿修繕を断念！財源は継続検討！

会議は、アンケート集約結果を踏まえ神輿の修繕について寄付の金額データを基に、話し合いました。千円以下が66・4%を考えると断念せざるをえないということになりました。しかし、神輿の激しい老朽化を考えると今後ともその資金作りには、そうすればよいか？クラウドファンディングや各種団体の助成金など引き続き検討を要することとなりました。

九月二十四日、神社境内清掃と第三回全役員会議を開催しました。清掃と草刈は、一時のような暑さは、和らぎ、風も多少あり、そんなにも

境内の清掃草刈り

完

青年団が神輿を担がなくなった理由は、御存じの通りだが↓例大祭の奉賛金が今までのように集まらなくなっていたという背景が

尚も深い総代会
と元青年団の
担ぎ神輿が無くなる経緯の一端



(拝殿 右側床下)

これがそうかな？
信末さんが賀澤健夫氏と連絡を記憶を手繰り寄せながら拝殿の床下

横棒発見！

当時、総代会は、勿論、青年団でも奉賛金を募っていた。区民からの苦情で、一本化を図るため、双方が集まりをもち、打ち合わせをもった。結果は、物別れ、青年団は、神輿からも手を引くこととなった。それだけの事では疑問が残る！いつの時代でも人集めは、大変だ！いまだこそボランティアという言葉が災害たんびに耳にする。当時は、遠くに働く人や大学生も呼びかけ人数を確保し終われば直会をし、平まで呑みに行ったことも記憶する。それも地域の若者が交流し近況を語り合える場だったと思います。それを元青年団の役員に「酒飲みに使っ金が欲しいんだっぺ」の意見があれば、それが実情を知る者の言葉か？となる。それ以外にも人手不足で、日当を払う場面もあったとのこと。何とかならなかったのかとは、誰しもが思うことでしょう。付け加えて、車での渡御になって、青年団OBが「担ぐ」ことを申し入れたら、それも不調だったと(涙)

何故、ここにシーソーがある

